

プログラム責任者
後藤 博久

総合診療科部長
救急科・集中治療科部長



日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
日本病院総合診療医学会認定医・指導医
日本救急医学会救急科専門医
日本外科学会認定登録医
日本胸部外科学会専門医・指導医
ICD協議会インфекションコントロールドクター
日本体育協会公認スポーツドクター
ICLSファシリテーター/コースディレクター(CMD)
日本DMAT隊員
日本医師会認定産業医

●プログラム責任者より

当院の新・家庭医療専門医プログラムは、日本専門医機構が運営する総合診療専門医で定められている7つの資質・能力(コンピテンシー)を修得することはもちろんですが、当院の基本理念である、患者中心の医療・ケア、さらには多職種との連携・マネジメント、地域志向アプローチを重点的に学ぶことができます。患者さん一人一人の人生、家族の思いを受けとめ、様々な職種の方と連携して医療を実践し、自ら学び成長することができる家庭医療専門医を目指しませんか。

Access

●鉄道

北陸新幹線 長野駅 下車
篠ノ井線またはしなの鉄道のりかえ
篠ノ井駅 下車
徒歩15分

●車

[名古屋・東京方面]
長野道 更埴ICより約5分
[新潟上越方面]
上信越道 長野ICより約10分



お問い合わせ先

電話: 026-292-2261
メール: shinogaf@grn.janis.or.jp
Web: <http://shinonoi-ghp/>
研修医お問い合わせフォームより
(QRコードサイト下部)



JA長野厚生連
南長野医療センター
篠ノ井総合病院

〒388-8004
長野県長野市篠ノ井会666-1
TEL 026-292-2261



JA長野厚生連
南長野医療センター
篠ノ井総合病院

新・家庭医療専門医
プログラム



新・家庭医療専門医

概要

新・家庭医療専門医は、総合診療専門医を基盤として、国際水準の質の高い総合診療医／家庭医を養成する制度です。

具体的には、家庭医療学についての深い理解を基盤として、良質なプライマリ・ケアを提供するとともに、地域でリーダーシップを発揮できる医師を養成することを目的としています。

今、日本では地域医療構想の導入が進み、医療制度の大きな改革が進んでいます。医療の集約化、機能分化が進むなかで、総合的な診療能力が求められる場面はますます増えていくことは確実です。

今後の医療において、総合診療医／家庭医は、都市部／郡部、病院／診療所を問わず、大きな期待を集めています。とくに、体系的なトレーニングを受け、高い能力を持つ新・家庭医療専門医は、そのリーダー的な役割を果たす存在として、その活躍が求められる場は、今後ますます増えることが確実な状況です。

(日本プライマリ・ケア連合学会HPより)

当施設での研修

当院は長野市南部地域の中核病院であり、二次救急医療機関です。また、長野市・千曲市・坂城町を中心に、紹介患者の受け入れを行っています。当科では主に高齢者を中心として、多疾患並存症例や社会的プロブレムを有する症例において、包括的視点から診療・退院支援を行っています。

また、院内に訪問看護ステーションが設置されており、訪問診療も行っています。

長野市と周辺の自治体には山間の過疎地域が多く、各地域の診療所への医師派遣も行っています。

当院と同じ南長野医療センターの施設として山間地域に新町病院があります。地域包括ケア病棟・療養型病棟を有し、当院と連携しながら地域包括システムを形成しています。

急性期医療から在宅医療まで、多様な場で地域住民のケアに携われることが当科の魅力の一つです。



研修プログラム

・研修の目標

プライマリ・ケアでリーダーシップを発揮できる専門医になるために、総合診療専門医に求められる資質・能力をベースとして、さらにレベルを高め、範囲を広げた目標を設定しています。

研修ローテーション例

家庭医療専門研修Ⅰ（おもに診療所・小病院）を18ヵ月以上、家庭医療専門研修Ⅱ（おもに病院）を6ヵ月以上研修します。総合診療専門研修3年＋家庭医療専門研修2年が基本です。

総括的評価

研修修了後、筆記試験、実技試験、ポートフォリオ口頭試問から構成される専門医試験に合格すれば、家庭医療専門医として認定されることになります。